

2023年度大阪公立大学公開講座 オンライン全4回講座 Zoom ウェビナー

SDGs～持続可能な未来社会を考える

第1回 11/24(金)

あまお ゆたか
天尾 豊

大阪公立大学 人工光合成研究センター長
/理学研究科 教授

人工光合成技術は持続可能な
未来社会に貢献できるか？

第2回 12/1(金)

ひがし ゆうこ
東 優子

大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授

SOGI（性的指向・性自認）の
多様性と学校における安心・安全

第3回 12/8(金)

こじま まさみ
小島 正美

食品安全情報ネットワーク(FSIN)
共同代表/元毎日新聞社編集委員

こいずみ のぞむ
小泉 望

大阪公立大学 農学研究科 教授

やまぐち ゆうべ
山口 夕

大阪公立大学 農学研究科 准教授

植物バイオテクノロジーと
持続可能な農業・食料を考える

第4回 12/15(金)

やまだ きょうすけ
山田 恭佑

大阪公立大学 環境マネジメント推進室 学生委員（代表）

環境報告書を作成して学んだこと
～環境を守るために私たちができること

◀ 詳細は裏面をご覧ください



開催形式
Zoomウェビナー

受講者のお顔とお名前は画面に表示されません。



時間 10:30～12:00

申込方法 大阪公立大学Webサイトまたは
右記二次元コード「申込フォーム」
から申し込みください。



締切日
11/8(水)

定員 80名（申込多数の場合は抽選）

受講料 4,000円（全4回分）

※受講の可否は、受付終了後11/17(金)までに通知
します。届かない場合は必ずお問い合わせください。

大阪公立大学 公開講座 🔍 検索

支払方法 オンライン決済または銀行振込

問合せ先 大阪公立大学 社会連携課 TEL : 06-7656-5112 FAX : 06-7656-5203



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

※お申込みの際の個人情報、申込後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。
利用目的以外の使用については、一切いたしません。

主催/大阪公立大学 企画協力/大阪いづみ市民生活協同組合

大阪公立大学と大阪いずみ市民生活協同組合が企画協力し、SDGsの開発目標を各回の講義テーマとして取り上げ、その実践の実例や動向、科学的知見等を提供し、皆様の意識や行動の変化を喚起するきっかけになることを趣旨として実施します。

第1回
11/24
(金)



あまお ゆたか
天尾 豊

大阪公立大学
人工光合成研究センター長／理学研究科 教授

人工光合成技術は持続可能な未来社会に貢献できるか？

石油依存からの脱却・カーボンニュートラル社会の実現が喫緊の社会課題となっています。中でも太陽エネルギーを利用して水と二酸化炭素を原料として燃料や有機物質を作り出す人工光合成はこれらの課題を解決する有力な技術と期待されています。この講義では様々な人工光合成技術の紹介とカーボンニュートラル社会実現に人工光合成技術がどのように貢献できるかを提案します。

植物バイオテクノロジーと持続可能な農業・食料を考える

遺伝子組み換えやゲノム編集技術などの植物バイオテクノロジーは、生物の遺伝子資源を利用して、健康向上や食糧増産、環境保全をめざす技術です。SDGsの目標2「飢餓をゼロに」では、食料の安全保障や栄養不足の改善を実現し、持続可能な農業を促進することを目指しています。その目標達成には、植物バイオテクノロジーをはじめとした先端技術の活用は不可欠です。今回は3人の講師によって講義します。

こじま まさみ 食品安全情報ネットワーク (FSIN) 共同代表
小島 正美 /元毎日新聞社編集委員
意外に知られていない遺伝子組み換え作物とSDGs

こいずみ のぞむ
小泉 望 大阪公立大学 農学研究科 教授
遺伝子組み換え食品とゲノム編集食品の最近の動向

やまぐち ゆうべ
山口 夕 大阪公立大学 農学研究科 准教授
SDGsの目標達成に貢献する植物バイオテクノロジー



小島 正美



小泉 望



山口 夕

第2回
12/1
(金)



ひがし ゆうこ
東 優子

大阪公立大学 現代システム科学研究科 教授

SOGI (性的指向・性自認) の多様性と学校における安心・安全

インクルーシブな学校づくりで重要なのは「誰ひとり取り残さない」や「みんなちがって、みんないい」をリップサービスで終わらせないこと。そのためには、かけがえのない個性の多様性を知ること、人権を基盤する方法でアプローチすることが求められます。そこで今回は、SOGI (性的指向・性自認) の多様性について解説します。

環境報告書を作成して学んだこと ～環境を守るために 私たちができること

環境報告書とは、法人などが環境への影響を公表するもので、公立大学法人大阪では学生有志と教職員で組織される「環境マネジメント推進室」が企画・編集をしています。前半は環境報告書作成やその中での自身の気づきについて、後半は環境を守るためにできることを学生・消費者それぞれ自分ごととして考えます。

やまだ きょうすけ
山田 恭佑

大阪公立大学
環境マネジメント推進室
学生委員 (代表)



(注意事項)

- ・視聴 (受講) にはパソコン、スマートフォンなどの端末でZoomを視聴できるインターネット環境が必要です。
- ・視聴にかかる通信費等は、視聴する方の負担となります。
- ・お一人様につき一端末のご利用となります。